

『看護のための症状 Q&A ガイドブック 第2版』正誤表

『看護のための症状 Q&A ガイドブック』第2版第1刷(2024年7月15日発行)について、以下のとおり、誤りがありました。ここにお詫びするとともに、訂正させていただきます。

2025年6月
サイオ出版

誤

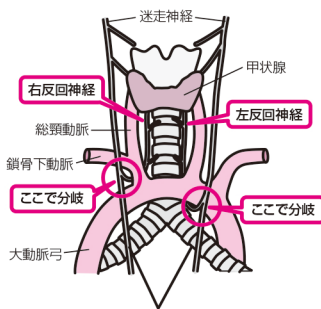
す。代表的な例は、歌手のように声を出す機会が多い人にみられる、声帯ポリープです。大きな声を出して声帯が過度に緊張したり、声帯を振動させている状態が続いたりすると、声帯が炎症を繰り返し、これがポリープの原因になると考えられています。声帯を好発部位とする喉頭癌も、嗄声の原因になります。

「声帯間の異物」は、誤って吸気時に気道に誤嚥された食物などが声帯をふさぐ場合です。

見出しのずれ

Q.6 反回神経の障害って何ですか？

延髄の疑核を経由して、迷走神経として脳を出ます。その後、迷走神経は図のように左右の頸動脈に沿って下行し、右側は鎖骨下動脈の位置で分岐して右反回神経になり、左側は大動脈弓の高さで分かれて左反回神経になり、大動脈



反回神経は気管支の後ろを通る

正

す。代表的な例は、歌手のように声を出す機会が多い人にみられる、声帯ポリープです。大きな声を出して声帯が過度に緊張したり、声帯を振動させている状態が続いたりすると、声帯が炎症を繰り返し、これがポリープの原因になると考えられています。声帯を好発部位とする喉頭癌も、嗄声の原因になります。

「声帯間の異物」は、誤って吸気時に気道に誤嚥された食物などが声帯をふさぐ場合です。

Q.6 反回神経の障害って何ですか？

反回神経の最も上位の中核は大脳皮質で、ここから出た命令は延髄の疑核を経由して、迷走神経として脳を出ます。その後、迷走神経は図のように左右の頸動脈に沿って下行し、右側は鎖骨下動脈の位置で分岐して右反回神経になり、左側は大動脈弓の高さで分かれて左反回神経になり、大動脈

